



引き取り下校訓練

8月31日(水)の引き取り下校訓練へのご参加をいただきありがとうございました。
地震から火事だけでなく津波も想定されるようになった自然災害への備え、今年の夏の様子からは大雨からの水害や土砂崩れも考えなければならなくなりました。
災害時における学校の使命とは『子どもたちを無事にご家庭の方々に引き渡す』ことと考えています。つまり、ご家庭の方々が身の安全を確認して来校されるまで、子どもたちの安全を学校で確保しておくことが重要だと考えています。
今回のような訓練を通して、子どもたちの安全を守るためのご家庭と学校との連携を深めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。



地震発生



津波警報→屋上へ避難



屋上への避難完了



引き取り訓練準備完了



引き取り訓練開始



夏休みの課題

計画委員会より夏休みの課題として提案された『一言日記』『絵日記』『俳句』の発表がありました。どの作品も自分の体験や思いをしっかりとまとめていました。給食室付近に展示されますので、何かの折にご覧ください。



ハチに注意

夏休み中にアシナガバチが巣を作りました。場所は、校舎一階の崖側の窓の下です。



用務員の中田さんの尽力により、子どもたちが刺されることもなく駆除することができました。しかし、巣に帰ってくるハチがまだいるので、まだまだ油断はできません。また、スズメバチらしいハチが校舎内で死んでいました。当面は『ハチに注意・見かけたら近づかずにすぐに先生へ知らせる』を子どもたちに呼びかけていきます。ご家庭の方でも子どもたちへのご注意をよろしくお願いします。

子どもを守る

今回は、自然災害やハチなど子どもたちの安全を脅かすものについて触れてまいりました。しかし、本校の教職員は子どもたちの万が一に備えて研修を行い、研鑽を深めております。先日は、心肺蘇生法の研修を実施いたしました。緊急時、呼吸なし・意識なし・心肺停止状態において、心臓マッサージや人工呼吸、AEDによる心臓蘇生の対応などは早ければ早いほど蘇生する確率が高まります。そのための研修を行いました。



心臓マッサージ実施中



人工呼吸実施中



AED 装着中

